



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月29日

上場会社名 江崎グリコ株式会社
コード番号 2206 URL <http://www.glico.co.jp>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江崎勝久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松本節範

TEL 06-6477-8404

四半期報告書提出予定日 平成22年11月2日 配当支払開始予定日 平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	154,873	0.3	9,281	△2.8	9,767	△2.8	5,657	△6.5
22年3月期第2四半期	154,464	△1.8	9,544	62.3	10,051	64.2	6,053	378.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	49.85	—
22年3月期第2四半期	53.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	207,533	111,503	52.6	962.37
22年3月期	200,988	108,287	52.8	935.04

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 109,229百万円 22年3月期 106,136百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	288,200	1.3	10,900	△7.7	11,200	△9.6	6,500	△7.6	57.27

(注)当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 144,860,138株 22年3月期 144,860,138株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 31,360,131株 22年3月期 31,350,577株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 113,503,680株 22年3月期2Q 113,541,534株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直し等によって景気は回復傾向にあるものの、海外景気の下振れ懸念、為替レート・株価の変動やデフレの影響といった景気下押しリスクがあり、引き続き厳しい状況にあります。食品業界においては、雇用環境や所得環境が本格的な回復には至らない状況にあって、依然として消費者の節約志向は根強く、販売競争は厳しい状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、主力品の強化や新製品・系列品の発売を始めとして積極的な販売政策を展開いたしました。その結果、売上高は、冷菓部門は増収となりましたが、菓子部門、食品部門、牛乳・乳製品部門、畜産加工品部門は減収となり、全体では154,873百万円（前年同期比0.3%増）となりました。利益面につきましては、原材料価格のダウン等による売上原価率のダウンや広告宣伝費の減少はあったものの、販売競争激化に伴う販売促進費の増加等により、営業利益は9,281百万円（同2.8%減）、経常利益は9,767百万円（同2.8%減）、四半期純利益は5,657百万円（同6.5%減）となりました。

各セグメント別の売上の状況は、以下のとおりであります。

・売上の状況

（単位：百万円、%）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）		当第2四半期連結累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）		増減額	対前年同期比	（参考） 前連結会計年度 （平成22年3月期）	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	構成比
菓子	39,242	25.4	36,094	23.3	△3,147	92.0	81,371	28.6
冷菓	38,880	25.2	43,394	28.0	4,514	111.6	58,155	20.4
食品	11,997	7.8	11,696	7.6	△300	97.5	24,077	8.5
牛乳・乳製品	45,669	29.6	45,075	29.1	△594	98.7	84,917	29.8
畜産加工品	16,445	10.6	16,205	10.5	△239	98.5	31,506	11.1
その他	2,229	1.4	2,406	1.5	176	107.9	4,508	1.6
合計	154,464	100.0	154,873	100.0	408	100.3	284,536	100.0

<菓子部門>

国内では、“クラッツ”が前年同期を上回りましたが、“スクイーズ”、“チーザ”及び「ポッキーグループ」等は前年同期を下回りました。また、海外では、タイ、上海の海外子会社が前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は36,094百万円となり、前年同期(39,242百万円)に比べ8.0%の減収となりました。

<冷菓部門>

3月に大幅なリニューアルを実施した“パナップ”が好調に推移し、猛暑効果により“パピコ”も順調に売上を伸ばしました。また、卸売販売子会社も増収となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は43,394百万円となり、前年同期(38,880百万円)に比べ11.6%の増収となりました。

<食品部門>

新製品“ごちうま”が順調に売上を伸ばし、“LEEレトルト”も前年同期を上回りましたが、“2段熱カレー”、「スナックスープ」等は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,696百万円となり、前年同期(11,997百万円)に比べ2.5%の減収となりました。

<牛乳・乳製品部門>

“朝食りんごヨーグルト”、“朝食プロバイオティクスヨーグルト”等のヨーグルト類は前年同期を上回りましたが、“ドロリッチ”等の洋生菓子及び果汁飲料は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は45,075百万円となり、前年同期(45,669百万円)に比べ1.3%の減収となりました。

<畜産加工品部門>

“Aーグル”等の食品原料は前年同期を上回りましたが、ソーセージ等は前年同期を下回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,205百万円となり、前年同期(16,445百万円)に比べ1.5%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

総資産は、短期資金運用による有価証券の増加、受取手形及び売掛金の増加、時価下落等による投資有価証券の減少等により、207,533百万円(前連結会計年度末に対して6,544百万円の増加)となりました。負債は、支払手形及び買掛金の増加、短期借入金の減少等により、96,029百万円(前連結会計年度末に対して3,328百万円の増加)となり、純資産は、利益剰余金の増加等により、111,503百万円(前連結会計年度末に対して3,216百万円の増加)となりました。

その結果、自己資本比率は52.6%(前連結会計年度末比0.2%減)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローから投資活動によるキャッシュ・フローを差引いた当第2四半期連結累計期間のフリー・キャッシュ・フローは12,266百万円となりました。また、短期借入金の減少と利息及び配当金の支払等により財務活動によるキャッシュ・フローは△4,555百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間の現金及び現金同等物期末残高は34,354百万円となり、前連結会計年度の期末残高(26,789百万円)に比べ7,564百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期の業績を踏まえ、平成22年5月13日に発表いたしました平成23年3月期通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	293,000	12,000	11,900	6,900	60.79
今回修正予想(B)	288,200	10,900	11,200	6,500	57.27
増減額(B-A)	△4,800	△1,100	△700	△400	△3.52
増減率(%)	△1.6	△9.2	△5.9	△5.8	△5.8
前期実績	284,536	11,805	12,388	7,031	61.93

※業績予想に関する留意事項

上記の業績予想に関しましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前事業年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①会計処理基準等の改正に伴う変更

- ・第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益が1百万円、税金等調整前四半期純利益が174百万円減少しております。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,251	16,659
受取手形及び売掛金	32,831	29,421
有価証券	23,374	13,707
商品及び製品	7,223	7,479
仕掛品	790	934
原材料及び貯蔵品	9,297	9,931
その他	5,206	4,686
貸倒引当金	△154	△146
流動資産合計	92,819	82,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,010	20,341
機械装置及び運搬具（純額）	25,608	25,481
土地	11,991	11,600
その他（純額）	7,646	7,965
有形固定資産合計	65,256	65,388
無形固定資産		
ソフトウェア	4,852	1,011
その他	786	3,337
無形固定資産合計	5,639	4,349
投資その他の資産		
投資有価証券	32,671	37,671
その他	11,904	11,594
貸倒引当金	△758	△688
投資その他の資産合計	43,818	48,576
固定資産合計	114,713	118,314
資産合計	207,533	200,988
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,319	25,507
短期借入金	7,119	10,908
未払費用	21,047	19,860
未払法人税等	3,668	3,205
役員賞与引当金	—	109
販売促進引当金	1,412	1,292
その他	3,782	5,580
流動負債合計	69,349	66,464

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
固定負債		
長期借入金	10,526	10,005
退職給付引当金	11,259	11,556
役員退職慰労引当金	—	193
その他	4,894	4,481
固定負債合計	26,680	26,236
負債合計	96,029	92,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,773	7,773
資本剰余金	7,427	7,426
利益剰余金	122,786	118,263
自己株式	△26,694	△26,684
株主資本合計	111,291	106,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△275	950
繰延ヘッジ損益	△420	△493
為替換算調整勘定	△1,366	△1,100
評価・換算差額等合計	△2,062	△643
少数株主持分	2,274	2,151
純資産合計	111,503	108,287
負債純資産合計	207,533	200,988

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	154,464	154,873
売上原価	86,741	86,289
売上総利益	67,723	68,583
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	14,031	14,060
販売促進費	17,609	18,187
広告宣伝費	6,668	6,421
退職給付引当金繰入額	581	572
販売促進引当金繰入額	52	120
その他	19,235	19,940
販売費及び一般管理費合計	58,178	59,302
営業利益	9,544	9,281
営業外収益		
受取利息	201	158
受取配当金	335	375
その他	746	664
営業外収益合計	1,283	1,198
営業外費用		
支払利息	160	141
その他	614	571
営業外費用合計	775	712
経常利益	10,051	9,767
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1
投資有価証券売却益	44	—
その他	3	—
特別利益合計	47	1
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	173
減損損失	117	48
投資有価証券評価損	140	90
貸倒引当金繰入額	75	70
その他	12	17
特別損失合計	344	399
税金等調整前四半期純利益	9,754	9,368
法人税、住民税及び事業税	3,433	3,746
法人税等調整額	82	△207
法人税等合計	3,516	3,538
少数株主損益調整前四半期純利益	—	5,829
少数株主利益	184	171
四半期純利益	6,053	5,657

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,754	9,368
減価償却費	4,902	5,144
減損損失	117	48
販売促進引当金の増減額 (△は減少)	52	120
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△277	△296
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△164	△193
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△88	△109
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	133	78
受取利息及び受取配当金	△536	△533
支払利息	160	141
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,558	△3,477
たな卸資産の増減額 (△は増加)	765	1,013
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,850	6,874
その他	3,719	1,072
小計	18,829	19,250
法人税等の支払額	△1,050	△3,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,778	15,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△111	△212
定期預金の払戻による収入	200	926
有価証券の取得による支出	△1,298	△2,154
有価証券の売却による収入	—	2,006
投資有価証券の取得による支出	△251	△14
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,231	2,548
有形固定資産の取得による支出	△7,123	△5,914
有形固定資産の売却による収入	34	4
貸付けによる支出	△320	△125
貸付金の回収による収入	345	60
利息及び配当金の受取額	557	581
その他	△758	△1,438
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,494	△3,730
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△10,929	△3,717
長期借入れによる収入	10,000	521
利息及び配当金の支払額	△1,248	△1,283
少数株主への配当金の支払額	△16	△18
自己株式の取得による支出	△23	△11
その他	△22	△46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,240	△4,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	171	△146
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8,214	7,564
現金及び現金同等物の期首残高	19,581	26,789
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,796	34,354

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社に事業部門を統括する事業統括本部を置き、各事業部門は取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「菓子部門」、「冷菓部門」、「食品部門」、「牛乳・乳製品部門」及び「畜産加工品部門」の5つを報告セグメントとしております。

「菓子部門」は、チョコレート・ガム・ビスケット・スナック等を製造・販売しております。

「冷菓部門」は、アイスクリーム等を製造・販売しております。

「食品部門」は、ルウカレー・レトルト製品等を製造・販売しております。

「牛乳・乳製品部門」は、乳飲料・洋生菓子等を製造・販売しております。

「畜産加工品部門」は、ハム・ソーセージ類及び澱粉・色素等を製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	菓子	冷菓	食品	牛乳・ 乳製品	畜産加 工品	計				
売上高										
外部顧客への売上高	36,094	43,394	11,696	45,075	16,205	152,466	2,406	154,873	-	154,873
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	54	167	222	2,702	2,925	△2,925	-
計	36,094	43,394	11,696	45,130	16,373	152,689	5,108	157,798	△2,925	154,873
セグメント利益又は損失(△)	543	5,508	105	1,690	336	8,185	△137	8,047	1,233	9,281

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、スポーツフーズ部門、オフィスグリコ部門、新素材部門、システム保守開発事業部門及び倉庫事業部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,233百万円には、セグメント間取引消去・その他調整額357百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用875百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。